

## D分科会「建築物の再生活用」 参加者のコメント

● 全建女は初めての参加です。遠い北海道から来た甲斐があり、本当に素晴らしいフィールドワークでした。京都の新しい建物(近代建築)がこんなに多く建てられていたのでも知りませんでしたし、その「まちづくり」に大変長い歴史をもった地域、建築士の方々の努力があったのも、今日知ることができて勉強になりました。

● 三条通りの建物を引き立てる道路や電線の在り方が今後問われると思う。

自分のものだから、どのようにしてもいいじゃない！という考えは、まちの中で自分が生かされてきたと思えば、維持できなくなったらあっさり次の人やこの建物を維持したいと考える人にゆずり葉の精神でバトンタッチして、次世代の人に残すことが歴史と文化と当時の建築技術の継承になると思うので、そういう人々の考えが多くの人に共有されたらいいですね。

行政に理解のある人がいれば、歴史的建造物が保存再生につながる重要要素になると思うし、そこに建築家と地域の人々が協働することで地域が活性化し、訪れた人に感動を与えることができると思う。

まちづくりは人づくりと言われるけども、まさに人がそのまち、建物を生かし、それが次の人にもバトンタッチといういい関係が生まれてくる。日本人のDNAかな？

● 大変楽しくフィールドワークに参加しました。

神奈川では歴史的建造物の保全や活用について感心が高く、市民活動も盛んです。

建築士会ではヘリテージマネージャー講座を県と共催するようになり、修了生も100人になりました。

今後は市民と共に息の長い活動を続け、地域に根付いていくことが大切と思います。

このような全国の情報交換の場は貴重だと思いますので、今後も続けていただけるとありがたいです。

● 京都市会、スタッフの皆様へ。

今回の準備、大変だったろうと思います。ありがとうございました。

そしてご苦労様でした。

● 京都の街並みは、個々の方の意識が高いと思いました。(自分は設計士やめた方が良いのではと思っちゃいます)

景観を作っていくことは、そこに暮らす方々の意識を高めていくことが必要である。それをどう仕掛けるかが大変なんだなあということを実感しました。

私の住む相模原市も景観設備の条例づくりをしている所ですが、表面だけの条例にせず、身のある条例にするには自分たちも積極的に参加していかなければ成し得ないと強く感じました。

本当にいい大会でした。ありがとうございました。

● 神奈川士会でも技術支援委員会の中でスクランブル調査隊というのがありまして、歴史建物の保存への支援をしています。多様な意見を聞き持続性のある活動の方法を今回の真田先生の講演が勉強になりました。地域それぞれ違うと思いますが、試行錯誤が必要と思われます。

● 地区各々に景観基準が設けられたことに安堵する。

行政がもっと主導的立場で指導することを期待する。(景観維持に)

不動産業者は経済効率のみを追求する。景観には悪影響を与える。

建築基準法は京都には不敵な部分がかかり多い。

結論はいつまでも心の安らぎのある京都を維持してほしい。

● 三条通の近代建築を満喫しました。改めて京都の歴史を感じ、保存・再生を興味深く見学しました。ありがとうございました。

私たちの住む大里支部では、地域にある身近な建物を知ってもらうために「構響楽」を年に1回開催しています。詳しくは埼玉建築士会大里支部のホームページを見て下さい。

● 長い歴史と文化を持つ京都での街づくりはそれなりにご苦労あるのだと感じました。フィールドワークたいへん興味深く、楽しみました。ありがとうございました。

私の住む埼玉県北の熊谷市では、地元の歴史ある建物を発掘し、地域の人に認識してもらい、保存活用につなげようと「構響楽」と題して建物と音楽の響きという音楽会を建築士会の女性委員が中心で開催し、すでに7回を数えています。戦史に焼けてなかなか古い建物もないのですが、身近ないい建物で聴く音が珍しいと地域に根付いてきています。

そんな活動から最近昭和のための建物の再生の相談を市から受けています。皆さんの成果を参考にさせていただき、これからも地道な活動をしてゆこうとしています。

● 雪の中、効率よく見学させていただきました。

古いビルもテナントとして使われているようですが、雪のせいか、早朝のせいか人の入りが少ない感じでした。収益的にはどうなっているのか気になりました。

千葉では京都に比べ物にならないほど残せるような近代建築が少ないのですが、少ない中からでもこのフィールドワークを参考に建物の再生活用に意見が言えたらと思っています。

● フィールドワークという分科会と連携した取り組み方は非常に充実した満足度を上げる手法で、楽しく参加させていただきました。

思ったこととして、今回実際に見てから資料によって取り組み方を学びましたが、事前に資料をいただければ予習を踏まえたフィールドワークができたように思いました。

京都は寺社仏閣のイメージでしたが私の知らない京都を知ること、今回非常に有意義な時間を過ごすことができました。

京都士会の皆さん、色々あった中での全建女京都でしたが、個々まで本当にご苦労様でした。私は前々回の長野大会の実行委員を経験させて頂きましたが、本当に大成功だと思います。お世話になりました。ありがとうございました。

● 京都で近代建築というのは、一般的にはマイナーだと思います。今回は寺院でなく明治以降の建物を解説的で見学することができ、本当に有意義でした。

私どもの長野の中山間地域と京都では、利用と活用に対する人工が圧倒的に違っていますが、景観と外観の保存に対する手法、特に旧京都中央電話局に関しては非常に参考になりました。

今年より、地元にある産業遺産や街並みを活用する方向を探るための調査を開始する予定です。地域的には「即利用」というわけには行かないので地道な活動が求められます。そういった意味では三条通に対する活動は私たちとしても尊敬に値し、また模範でもあると感じました。長野県もがんばりますが、女性や京都の皆様のご活躍をこれからもお祈り申し上げます。

この度は男性なのにもかかわらず非常にお世話になり、誠にありがとうございました。

● ものづくりの町、福岡県北九州市部より来ました。ものづくり、エコタウンの北九州ですが、やはりものづくりの町。京都、同じものづくりでも雅びさがちがいますね。まだまだ見るべきものがたくさんありますが京都府建築会さん達が準備していただいて十分に堪能させていただいたと思います。もっと建築を勉強しなくては！

● 個人的には京都の条例にとっても苦労し、規制に違和感を感じることも多々あります。一方で京都駅は京都の玄関だというのにどうゆう規制をかけていたのだらうと思っています。

あれは○？×？

京都建築士会の景観への取り組みに感心します。これからももっともっと活気ある街並みとして古き良き建物を残していただきたいと思っています。

● 本日はとても充実したフィールドワークに参加することができてありがとうございました。  
街並みを守るということは難しいことですが、時間をかけて取り組んでいく大切さを今日は教えていただいた感じがします。先生はじめスタッフの皆様、お疲れさまでした。

● 初めて参加したテーマだったが、参加された各県の方々のコメントで、各地の活動が聞くことができ良かった。(力強い思いが伝わった)  
フィールドワークでは、石田先生、山本さんから細かいところや苦労話などを聞くことができ勉強になった。(関わった方でしか分からない話など)  
建築士会として、まちづくりにかかわること、生活者としてのかかわりが、まちづくりの成功の一つかと感じた。

● 今日は本当にありがとうございました。  
京都三条通りのスバラシイ歴史を再発見させていただきました。  
京都建築士会のみなさんが作成して下さったフィールドワークは大切な宝物となりました。  
まさしく「活用され続ける近代建築物」に感動です!!

● 景観規制において特に三条地区に近代洋風建築を継承した建築への配慮をされている状態がある中で、特にヒューマンスケールである6m道路に面した場合、電線の地中化は景観的に重要になると思います。

● 三条通りの道路中6mが両サイドの店舗を感じながら歩くことができるスケール、というご説明が強く印象に残っています。  
古くからあるものを生かしながら、景観整備がなされていて、それが誰もが気軽に来れる商業地域であることが興味深いです。京都建築士会の活動にも感心いたしました。

● 京都建築士会の皆様、スタッフの皆様のお力に感動しました。ありがとうございました。

● 今日はありがとうございました。  
説明(スライド)とフィールドワークが逆だったら、また見方が変わったのではないかとちょっと思いました。  
準備 etc.大変だったかと思えます。本当にありがとうございました。

● 同じコースを、同じ建築士が見て歩いたのに、いろいろな意見があると思いました。  
まちづくりも、いろいろな人の思い、利害があるので、すぐには無理だけど未来のまちなみが良いものになるように、建築士、建築士会として何かできればと思いました。

● 山本様、町屋の件、色々アドバイスありがとうございました。3月には結論を出します。

● 単に修理修景をほどこしているだけでなく、活用されていることに感じいました。  
ならでは同じように町並み保存は各所でなされているのですが、今ひとつ活用の方に力が注がれていない気がします。これからはより一層その方面に気を配っていきたいと思います。

● 素晴らしい講師のご案内で、近頃ない充実した半日を送ることができました。  
奈良には伝建地区が3つあり、その他にも特色あり町並みの残るところがたくさんありますが、残念ながら保存活動の遅れた所では両隣の壁面が無残な姿を見せています。三条通にはいくつかパーキングを見ました。空き地に対する規制、生垣とか塀を作らなければいけないといった規制の効果はないのでしょうか。パーキングは空き地ではないのかな。

● 三条通が歴史ある重要な街並みであったことを初めて知りました。この通りで見ることができた感動として、昔より伝統工法の大工達が偉人館を建てる折、日本の技術を駆使して遊び心も含めて楽しみながら建築された

のを思い出し、こちらにも有名な建築家だけでなく無名な建築士たちも、この近代建築に遊び心も込めて設計されていたのに明治の若手建築士たちの気概を感じました。兵庫、姫路のお城付近ではレンガ造りの市立美術館や、結婚式場として再利用されていますが、もっともっと町屋のみならず、近代建築も活用していけるよう活動を深めていきたいと思います。

●全建女京都大会、大変な準備をしていただきご苦労に感じ入ります。

京都という日本の歴史と文化を代表する地が街並みを維持していく難しさを感じました。経済が発展していた時には効率的な新しい建物を建てようとするバブル期のような街並みが出現するし、経済が沈滞化すると古い建物を維持できないということもあり、丁度よいコンパクトシティとしての都市づくりがなされることを願うばかりです。

●各地でコミュニティがなくなっていく時代、早くから街の景観をキーに活動されて今になると同じ町が生き生きと人も物も新旧一体となった生きている町に感じられ素晴らしいと思いました。一部東京資本も入っているのが残念に思いますが、出来るだけ京都さを残して下さい。

●雪を見たのは何年ぶりのことでしょうか。とても寒かったですけど白い景色も美しく楽しい街歩きでした。テナントのお店はどれもおしゃれで、また行ってみたいところばかりです。これからはますます美しい京都でありますよう。ありがとうございました。

●博物館の中庭でゆっくりお茶したく思いました。今回も期待を裏切らない京都でした。京都の皆様お世話になりました。

●説明をうかがっていろいろな保存の仕様があるのかなと思いました。残したい建物が集中しているのでなく間にそうでない建物もある、また協力してもらわないと街並みとして成り立たない。大変だけど、皆さんの感想を聞いてすごいことなんだと思いました。徳島、鳴門はシャッター通りが増え続けています…

●第一日目、第二日目共「まちづくり」をテーマに密度の高い勉強をさせていただきました。

三重の各市町においてもシャッター通りは多く、ドーナツ化現象が起っています。今後の三重のまちづくりにも生かしていきたいと思います。

●我が香川県では立てられた近代建築さえ「耐震性が…」ということで公共の建築物もどんどん建て替えられています。現代の生活の中に残していくためには立てられた時の、その時代の思想や建てた思いを語り伝えていくことが大事ではないかと思っています。京都の人がまちを愛されていることが伝えられてきたのだと思います。

●本日はありがとうございました。雪の京都を十分に楽しみました。近代建築物で素敵な街並みが出来ているということに驚きました。さすが京都だなと思いました。

古い建築の保存改修の手法なども説明していただき大変勉強になりました。特に新風館は”すごい気付き”でした。改修が完了したら是非もう一度、今度は買い物に行きたい と思いました。本当にお疲れ様でした。

●全建女に初めて参加しましたが、とても興味ある内容で楽しめました。行政に携わる者として狭くなりがちな視野、固くなりがちな考え方など、こういう場に来ると刺激を受け柔らかくなるのを感じます。南国宮崎育ちの私には寒さ厳しい一日となりましたが、これもなかなかオツなものだとも思いました。準備から運営まで大変お疲れさまでした。

●三条通の景観に圧倒されました。一歩足を踏み入れるとどこか懐かしく調和され、また新しい斬新なデザイン。その中心を建築士会で支えられている地域の方々との関わり合い素晴らしいものであると思います。今日はありがとうございました。